

障がい者雇用人材募集特集は、ヨミウリ・オンライン「ジョブサーチ」にも掲載しています。ぜひ、ご覧下さい。  
http://job.yomiuri.co.jp/

# 障がい者雇用人材募集特集

企画・制作  
読売新聞東京本社広告局

広告

## 社員の7割超が知的障害者

日本理化学工業会長  
大山 泰弘さん

知的障害者の雇用に取り組んで半世紀。チヨク製造大手の日本理化学工業(本社・川崎市高津区)には、全社員の7割を超す知的障害者が働く。経営姿勢を変えるきっかけになったのは、養護学校の先生が必死に訴えた一言だった。

1959年。養護学校の先生が卒業予定の少女2人の就職の依頼に来た。最初は取り合わなかったが、3度目の訪問で、「この子たちは、就職できないと親と離れて地方の施設で暮らすことになりました。一生働くことを知らずに終わってしまいます。一度でも働いて経験をさせてくれませんか」と。この一言が「今の自分を作りました」と、大山さんは振り返る。

2週間にわたる実習期間中、2人は昼食の時間になっても手を休めることなく、懸命に汗を流した。心を動かされた従業員が、最終日に「我々が2人の面倒を見ますから」と懇願し、採用が決まった。

75年には、同社の知的障害者の雇用率が50%を超えた。現在、本社と北海道茨木市の工場、全従業員74人のうち、54人が知的障害者(重度障害者は33人)だ。

初めて採用された女性の一人は64歳になり、転居として接客などをこなす。96歳の母親と支え合って暮らしているのだという。能力に合わせて工程を考えた其生型の生産ラインは、誰が作業をしても同じ結果が出るように工夫が施されている。機械を始動・停止させるタイミングを計るには、砂時計が使われている。計量は、同じ色の原料を同じ色の容器に入れ、同じ色の重りと釣り合えば済むようにされている。製造ラインの知的障害者の比率は、9割を超える。

おおやま・やすひろさん  
1932年東京生まれ。56年中  
央大学法学部卒業、日本理  
化学工業入社。89年に社団  
法人全国重度障害者雇用事  
業所協会を設立、2003年ま  
で会長を務めた。

